

# 第2回 4月 共通テスト本番レベル模試

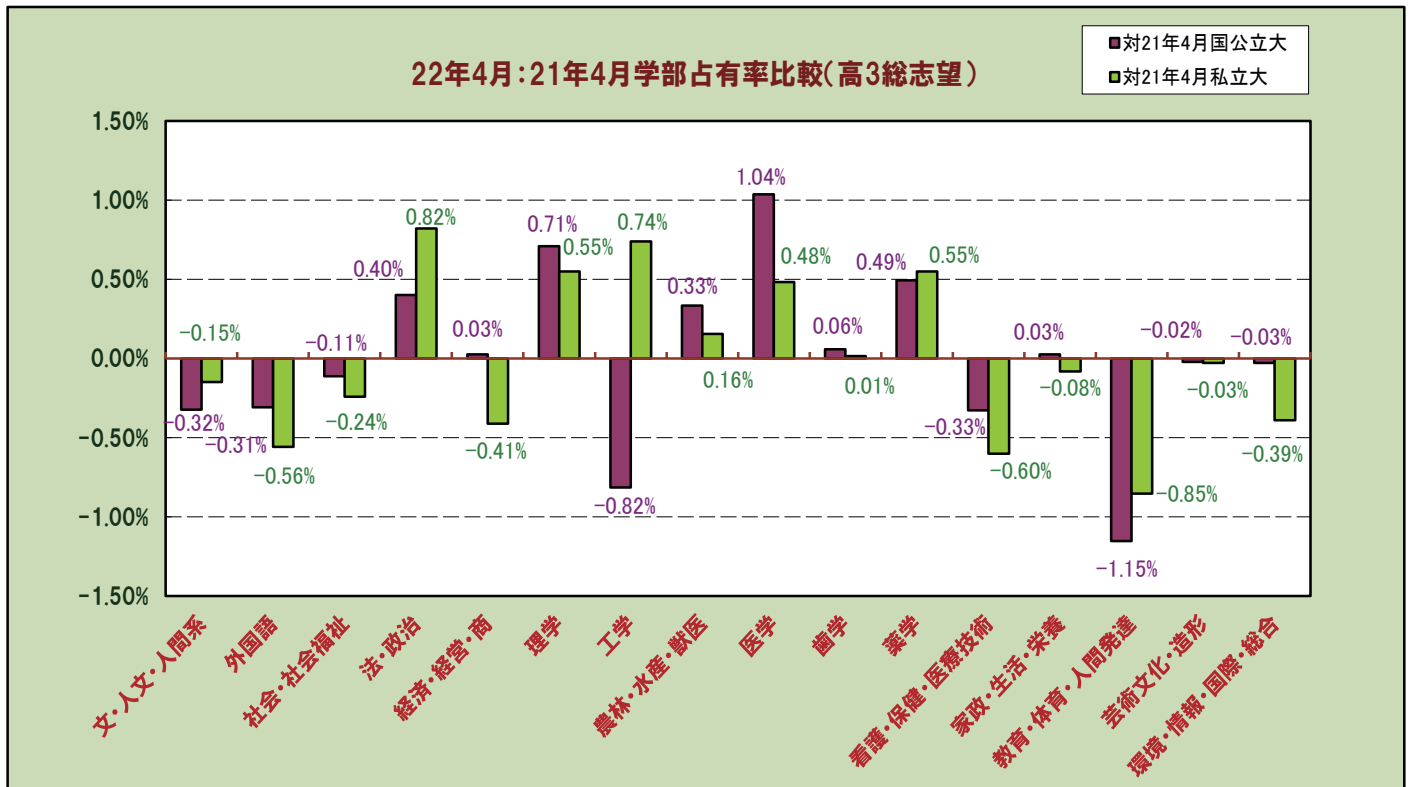
学問に王道なし！

不安な気持ちに負けず、勉強を積み重ねよう。

4月24日（日）に実施した「第2回 4月 共通テスト本番レベル模試」の高3生の学部系統別の志望動向を、昨年同時期の高3生の志望動向と比較した。

なかなか終息しないコロナ禍ではあるが、文部科学省からの指導もあり、大学では対面授業を基本するようになってきた。ウイズコロナからポストコロナへの動きが進む中、受験生は自分は今からどのような学問をどのような環境で学びたいと思っているのか、参考にしてほしい。

## 【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



## 【学部系統別指数(設置区分別)】\*前年度を100とする

系統別名称	国公立指数	私立指数	総合
文・人文・人間系	95	99	96
外国語	76	76	75
社会・社会福祉	94	96	92
法・政治	107	109	107
経済・経営・商	100	98	96
理学	108	110	111
工学	97	104	102
農林・水産・獣医	106	108	110
医学	112	122	119
歯学	108	105	110
薬学	113	115	114
看護・保健・医療技術	95	88	93
家政・生活・栄養	103	94	96
教育・体育・人間発達	84	81	84
芸術文化・造形	96	98	95
環境・情報・国際・総合	99	94	95

### ■国公立大

工学系がやや減少しているものの、文低理高の志望動向に大きな変化はない。

コロナ禍で不人気傾向となった外国語系は回復傾向が見られない状況。

なお、2023年度入試での新型コロナ対応を早々に告知している大学もあるので、志望校の入試情報はホームページ等で確認のこと。

### ■私立大

全体的には2022年度入試の志望動向が継続しており、国公立大学の志望動向とも大きな違いはない。

環境・情報・国際・総合系は、国際系の人気が復調の兆しが見えるほか、2023年度はデータサイエンス系学部の新設・改組も多いことから、今後の志望動向に注目である。

※このデータは、2022年と2021年の「第2回 4月 共通テスト本番レベル模試」について、大学の設置区分（国公立・私立）ごとに学部系統別の総志望者数（統一実施日受験の高3生・第6志望まで）から算出した割合を比較したものである。